

# 文化財をたずねて

No. 1

『有年駅周辺』の史跡めぐり

発行 赤穂市教育委員会  
編集 生涯学習課文化財係  
(赤穂市加里屋81 TEL3-3201 内線287)



有年駅

## ①有年駅

明治23年(1890)の山陽鉄道(JR山陽本線)有年駅ができて以来、有年横尾は、有年の商業地域となった。有年駅は、大正10年(1921)4月の赤穂鉄道の開通によって、赤穂鉄道の有年駅と隣接し、ますます重要な役割を果たした。兵庫県家畜衛生指導所、農林省食糧事務所有年出張所、郡公会堂、煙草収納所など多くの官公庁施設ができ、昭和26年(1951)12月の国鉄赤穂線が開通するまで赤穂の陸路の玄関口として栄えた。駅舎は、当時の面影を残している。

## ②道標

国道(2号線)拡幅改修時に取り除かれていたが、地元有志の力で平成3年(1991)2月もとの位置近く(旧位置より西方)に立て直された。高さ114cm、24cm角の石標で、『右 上郡鳥取道』『左 岡山広島道』『御大典記念 昭和三年(1928)』と刻んでいる。



道標

## ③池魚塚

国道と有年横尾・谷口からはじまる交差点(農協給油所前の山裾)付近の享保9年(1724)銘の塚の元地藏のそばに立ち、天保7年(1836)の年号を刻む。碑文によると、この周辺の土地は昔から低く雨降りごとに道路は水をかぶり、旅人は往来に困り果てていた。村人たちは、この実情を見かねて考えたあげく、村総出で池魚を売った代金で道路改修を行ない、旅人に喜ばれた。この喜びは、村の人の力でなく池魚のおかげであると……。村人の功績は言うに及ばず池魚への感謝と供養の塚と言う。旧地は、国道をはさんだ対面、東へ約100mの三差路付近(現在道標建立)にあったが、国道改修時に現在地に移した。



塚の元地藏と池魚塚

## ④船着場跡

有年横尾は、江戸時代安志藩小笠原領に属していた。千種川と矢野川の合流から上手約100mの山沿いに、安志藩の舟着場があったが、現在はその形跡を確かめることができない。



船着場跡

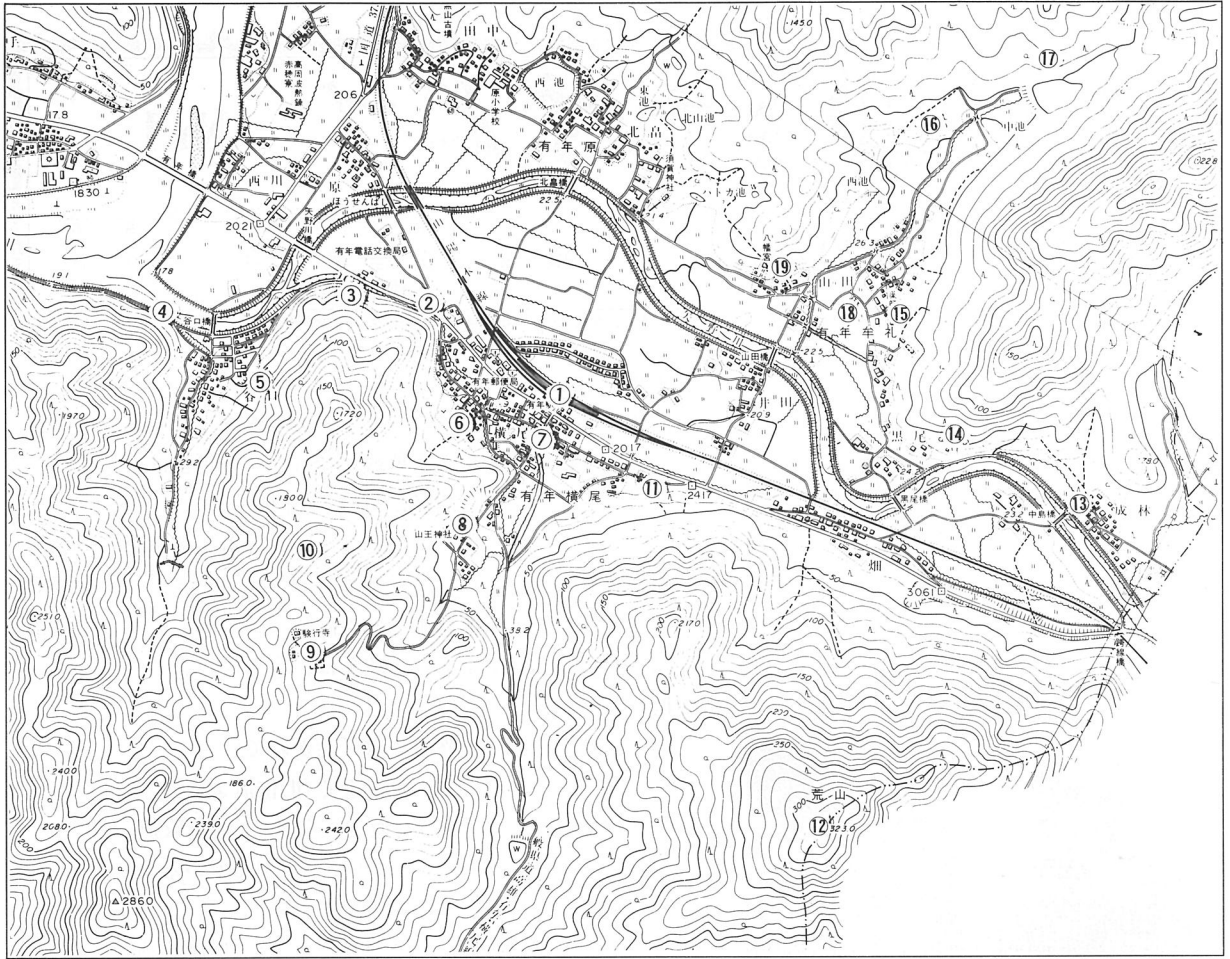
## ⑤須賀神社

有年横尾・谷口にある。『谷口の荒神社さん』と呼ばれ、明治4年(1871)に奉遷した。小祠に、稲荷、荒神、猿田彦の三神を合祀する。

## ⑥谷口庄三碑

有年横尾公民館敷地内に、里正甚蔵の墓とともに建ち並ぶ。明治35年(1902)赤穂郡長古田庸の撰書により四面全体に業績など漢文で刻んでいる。





- |              |          |         |            |          |
|--------------|----------|---------|------------|----------|
| ①有年駅         | ②道標      | ③池魚塚    | ④船着場跡      | ⑤須賀神社    |
| ⑥谷口庄三碑       | ⑦有年村道路元標 | ⑧山王神社   | ⑨医王山験行寺普門院 | ⑩轆ヶ堂城跡   |
| ⑪村境の石標       | ⑫高野須城跡   | ⑬道標     | ⑭須賀神社      | ⑮二又山の薬師堂 |
| ⑯塚山群集墳、奥山群集墳 | ⑰クリ園林    | ⑱牟礼山田遺跡 | ⑲八幡神社      |          |

### ⑦有年村道路元標

戦後の県道拡幅時に除去されていたが、平成3年(1991)2月もとの位置近く(旧位置は、北側の旧道の辻角)に立て直された。高さ110cm、25cm角の石標、表『有年村道路元標』裏『兵庫縣』と刻む。周世坂峠の有年側ふもとに畜魂碑が建つ。高さ134cm、幅68cmの花崗岩の自然石である。側面に『昭和二年(1927)十月』と刻んでいる。

### ⑧山王神社

建立時など不明である。元は験行寺げんぎょうじにあったが、横尾上の山に横尾荒神社、稲荷神社、塞之神社を境内社として合祀する。境内も狭く参道も急な上り坂で危険なため、昭和57年(1982)10月11日横尾アチラバエという現在地に須賀神社と併せ移した。

### ⑨医王山験行寺普門院

医王山上にある真言宗古義派の寺院で、天平2年(730)に行基がつくったと言う。寺の名前のいわれは、その後弘法大師が中国から帰る途中立ち寄り、鉾泉を発見し験行の二字をつけたと言われる。『播磨鑑』では、八町四方に多くの院(僧房)があり、八峯十二谷の名山であったと書かれている。境内は、室町時代の五輪塔が数多く残り、その隆盛がうかがえる。地蔵も参道と境内にある。平成2年(1990)4月本堂が修復され、本尊(薬師如来像)開眼を行う。周辺は県の自然環境保全地域に指定され、シイ・ヒノキ・クスノキなど大自然林が残っている。

### ⑩轆ヶ堂城跡

験行寺裏山の三重山の山頂(標高196m)に鍵形梯郭式の山城跡がある。三重山は、小さな山が三つ重なり一直線に見えるところから呼ばれ、『播磨鑑』には「影なしの

峯」と書かれている。その昔は、山頂に傘松（からかさまつ）と呼ばれる巨木が、傘を広げた形に枝をはり、山頂が円錐の先端のようにとがっていたため、一日中松の影が見えないことからつけられた名で、『験行寺の七不思議の一つ』にあげられていた。山頂から南へ尾根づたいに約100m、曲輪、石垣、堀がある。高さ8mの石垣に囲まれ、東西12m、南北58mの広さのある南寄りの最大曲輪が本丸跡と言われている。『播州赤穂郡志』によれば、小田弾正がはじめて住み、その子治内の時に小河丹後守秀春に攻められたが、東有年住人三宅三左衛門に助けられ、敵を討ち破った。しかし、この時の戦いによって、験行寺なども火事で焼けたと言う。時は、元龜2年(1571)と天正5年(1577)の2説がある。

#### ⑪村境の石標

旧山陽道沿いの高山宅屋敷隅にある。高さ50cm、26cm角の村境の石標で、正面に『東 牟礼東村 西 横尾村』と並び刻まれている。

#### ⑫高野須城跡

相生市雨内の境にある荒山(標高316m)の頂上にある。石垣の一部が残り、谷には馬洗場と伝えられる所もあるが、規模構造は不明である。城主は、赤松(後性は高島)右馬助正澄、上月城主赤松政範のおじにあたる。天正5年(1577)羽柴秀吉軍が上月城を攻めた時、政範とともに戦死した。頂上には、かつて『龍王山の祇園さん』と呼ばれた祇園神社があり、雨乞いの神として地元から信仰を集めていたが、現在は有年牟礼八幡神社に合祀する。龍王山の名のおこりは、龍神が住む(雨乞いの神)と伝えられるところから……。海神社とも言う。

#### ⑬道標

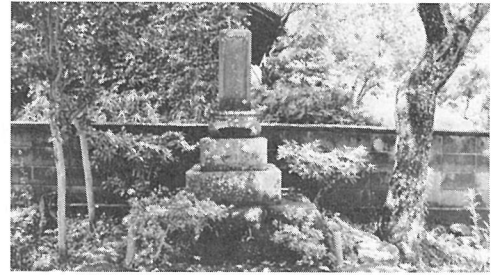
矢野川にかかる中島橋の右岸そばに建つ。高さ62cm、21cm角の道標で、一辺に『右 上郡 左 ウネエキ』と並び刻まれ、その中央(間)下に『道』を同記する。他方に『大正十二年(1923)十月』などを刻む。一方、対岸橋たもとに須賀神社(『中島の荒神さん』)の小祠が建っている。

#### ⑭須賀神社

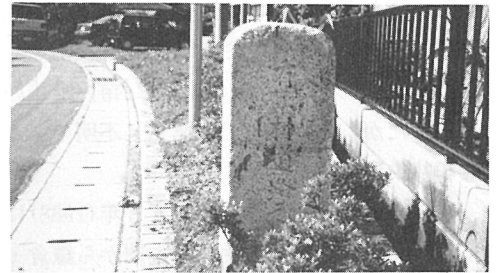
『黒尾の荒神社』と呼ばれ、農耕の神として須佐之男命を祀っている。社には、菅原永得画の義士絵馬49枚がある。快拳半ばで大阪と京都で病死した2人の絵も残る。近くに、円明庵があったと伝えられている。背後の荒神山の谷沿いに荒神山古墳群があり、直径5m、高さ1.6mの墳丘が5基散在する。その築造・年代・性格は全く不明である。

#### ⑮二又山の薬師堂

『山田の薬師さん』と親しまれている。本尊は、高さ11cmの薬師如来像で、『寛永十一年(1634)卯月(6月)八日近藤普濟作』と銘がある。昭和9年(1934)8月に本堂が改築された。境内には、由来伝承不明の室町時代頃の五輪塔、宝篋印塔がある。東方約30mに古くから『薬師の清水』と呼ばれる湧水井戸があり、どんな旱魃の時



谷口庄三碑



道路元標



山王神社



験行寺



鶴ヶ堂城跡 (三重山)



も枯れることなく、ご利益祈願の聖水として崇め伝えられている。

#### ⑩塚山群集墳、奥山群集墳

塚山一帯には、古墳時代後期の4つの群集墳(26基)がある。1つの群には、それぞれ1基ずつ玄門あるいは間仕切りという特殊な構造をもつ注目される古墳がある。なかでも、県指定文化財(平成2年(1990)3月20日)の塚山6号墳は、1辺14.6m、16m、高さ4mの方墳で、第1群集墳中最大の横穴式石室である。

#### ⑪クリ園林

塚山群集墳の谷奥の市有林に、昭和58年(1983)クリ園林を開拓した。面積1.7haにクリ苗木800本を植栽し、現在は有年牟礼の地区民によって栽培管理され、毎年学校園などの親子クリひろいが催されている。クリ園林山の裾野に、市内唯一の山田奥窯跡(須恵器窯)があったが、現在はその位置さえ不明である。

#### ⑫牟礼山田遺跡

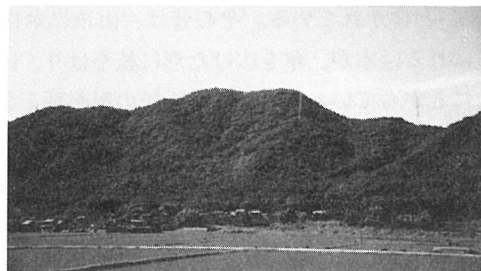
昭和61年(1986)から昭和63年(1988)にかけての圃場整備工事に伴う発掘調査で、弥生時代中期から鎌倉・室町時代に至る複合遺跡が発見された。特に、山田集会所の南方に広がる丘陵地(現在は田圃)において、弥生時代中・後期の竪穴住居跡、古墳時代・飛鳥奈良・平安時代の掘立柱建物群などの遺構やそれに伴う数多くの遺物が出土し、有力者が長い年月にわたって住んでいたことがわかった。平安時代の『秦』のヘラ書き須恵器片は、千種川流域における秦氏伝承の存在を確実なものにした。弥生時代後期の方形の墳丘墓は、有年原・田中墳丘墓同様貴重な遺構である。

#### ⑬八幡神社

有年牟礼は、江戸時代有年原とともに天領であった。一昔まで「牟礼東」または「東牟礼」と呼ばれた。古代より周世郷に属し、住民は周世八幡神社の氏子であった。参拝において、周世坂の難路に悩んで別宮建立が持ち上がった。御分霊を頂き永正2年(1505)横尾松ヶ瀬に一時奉遷した。のち有年牟礼・宮の前に移り、再び慶長年間に現在地に奉祀されたと言う。一説には、周世八幡神社の御神体を盗み出したという語り伝えがあるが、それらは前述の理由からきたものであろう。祭神は、応神天皇、仲哀天皇、神功皇后の三神である。かつては、奥の院で雨乞いが行なわれたこともあった。その他、大避神社、須賀神社4社、海神社を合祀する。境内には、明治天皇聖徳碑がある。他に旧有年村内では東有年の八幡神社、有年橋原新田の須賀(荒)神社にもある。農耕の四季をあらわした珍しい『農耕絵馬』をはじめ長安(法橋)義信画、清原千古画の絵馬など数多く残っている。鳥井前には『奥池嬉築記念碑』が建つ。八幡神社前の田圃では、鎌倉時代の掘立柱建物群等が出土した有年牟礼・宮ノ前遺跡が眠る。

(調査協力) 横山 博光、松田 里司、平田 一二、  
宮下 斉、井上 益雄、沼田 寛、

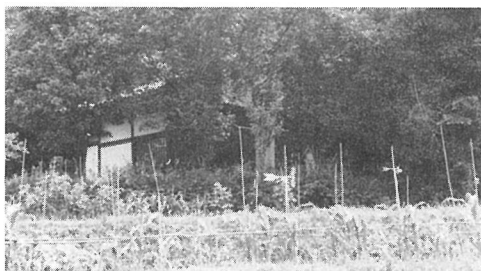
次号は、『原小学校周辺』史跡めぐり



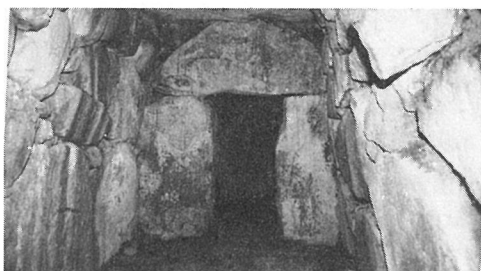
高野須城跡



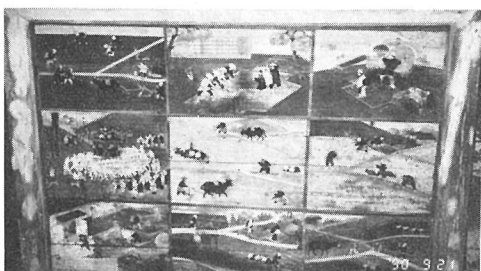
義士絵馬(黒尾須賀神社)



二又山薬師堂



塚山6号墳



農耕絵馬(牟礼八幡神社)